

製品名: RPL10A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87773**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	2.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:25 kDa; Observed MW:25 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPL10A
別名	L10A; CSA19; NEDD6; Csa-19
遺伝子ID	4736
SwissProt ID	P62906
免疫原	ヒト RPL10A の組み換えタンパク質

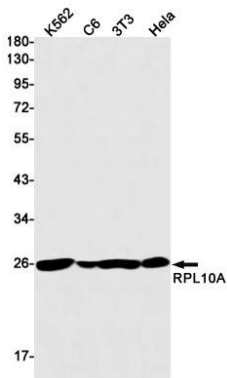
背景

リボソームは、タンパク質合成を触媒する細胞小器官で、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。

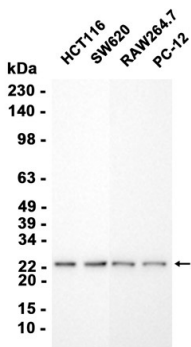
す。これらのサブユニットは、4種類のRNAと約80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、60Sサブユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質のL1Pファミリーに属し、細胞質に局在しています。この遺伝子の発現は、免疫抑制剤であるシクロスポリンA (CsA) によって胸腺でダウンレギュレーションされます。マウスを用いた研究では、リボソームタンパク質L10a遺伝子の発現が、発生中の神経前駆細胞でダウンレギュレーションされることが示されています。この遺伝子は以前はNEDD6 (神経前駆細胞発現、発生的にダウンレギュレーションされた6)と呼ばれていましたが、RPL10A (リボソームタンパク質10a)に改名されました。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的であるように、この遺伝子にはゲノム中に複数の処理された擬似遺伝子が散在している。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

画像データ



RPL10A抗体 (1:1000希釈) を使用した K562、C6、3T3、Hela 細胞溶解物中の RPL10A のウエスタンブロット検出。



AMRe87773 を 1:3000 で使用して、HepG2、HCT116、RAW264.7、PC-12 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。